

タウンミーティング 会議録

日 時：平成29年11月21日（火） 19：00～20：40

場 所：黒部市国際文化センターコラーレマルチホール

テーマ：市総合振興計画 第2ステージに向けて

「黒部」の魅力再発見～山・川・海が育む豊かな資源～

参加者：155名

【事務局】

会場にお集まりの皆様、ご苦労さまです。

ご案内の時刻になりましたので、ただいまから、平成29年度「市長と語ろう！タウンミーティング」を開催いたします。

私は本日の進行を務めさせていただきます、企画政策課の橋本でございます。皆様のご協力を賜り、円滑な進行に努めたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

さて、本日のタウンミーティングのテーマは、「市総合振興計画 第2ステージに向けて「黒部」の魅力再発見～山・川・海が育む豊かな資源～」であります。

最初の20分程度で、市長からテーマについてお話しをさせていただきます。会場の皆様は、正面のスクリーンをご覧になりながら、お聞きいただきたいと思います。

説明の後、会場の皆様方から、順次、ご意見やご提言をお受けし、意見交換することとしておりますが、終了時間は、午後8時30分を目処として進めていきたいと考えておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

また、先ほど受付でアンケート用紙をお配りいたしました。今後のタウンミーティングの参考とさせていただくほか、ご発言できなかった皆様からも自由にご意見を書いていただき、市政運営の参考とさせていただきたいと思っております。

お帰りの際、受付で回収いたしますので、どんな簡単なことでも結構です。記載いただければありがたく存じます。

それでは、さっそく始めさせていただきます。

堀内市長から、本日お集まりいただきました皆様へのごあいさつと、テーマに関しての基本的な黒部市の考え方を述べさせていただきます。

市長、よろしくお願いいたします。

【市長】

皆さん、こんばんは。

本日は、何かとご多用の中、また、仕事を終えられ、大変お疲れのところ、このように大勢の皆様に参加いただき誠にありがとうございます。せっかくの機会でありますので、本日の討論会が実りのあるものとなるよう積極的なご発言をお願いしたいとおもいます。

さて、今回のテーマは、今後のまちづくりの方向性を示すために策定作業に着手しております「市総合振興計画 第2ステージに向けて『黒部』の魅力再発見～山・川・海が育む豊かな資源～」であります。我々の地域で最も大事なテーマは、少子高齢化、人口減少に対し

てどんな対策をとっていかということ。出生率の上昇はもちろん重要であります、すぐにどうかなるものではありません。何よりも交流人口を増やしていくことが大切かと考えております。そのために、黒部の魅力を再発見し、それをしっかりと磨き上げて全国に発信していくことが大事であると考えております。それでは説明に入らせていただきます。

詳細については、別紙をご覧ください

【事務局】

ただいま、市長からテーマについて提案がございました。

この後会場の皆様から、ご意見やご提言をお受けいたしたいと思っております。市長は中央のお席に移動をお願いいたします。

発言される方は、挙手のうえ、係の者がマイクをお渡ししますので、マイクを受け取られてから、地区名あるいは所属団体とご自身のお名前に続き、ご意見を述べていただきますようお願いいたします。

また、タウンミーティングでは、できるだけたくさんの方からご意見を頂戴したいと考えております。発言は、お1人2分以内で、要点を簡潔にお願いいたします。

それでは意見交換を始めたいと思っておりますが、事前に発言通告を3名の方から受けております。まず、その方々から順次、発言いただきたいと思っております。

【石田・Sさん】

NPO法人黒部まちづくり協議会の公共交通ワークショップに所属しています。今日は、交流人口の拡大という観点から、JR黒部宇奈月温泉駅にある「ふれあいプラザ」について、ご提案を交えながら市長の考えを伺いたいと思っております。以前から、市長も「ふれあいプラザ」の利用促進を図っていくという話を伺っており、私たちもいろいろなイベントを開催していきたいと考えております。いくつか利用しづらいと思うところがあります。季節や天候によっては、強い風が吹くこともあり、利用者のデメリットになっているように思います。例えば風を防ぐような施設を設けると利用も増えるのではないかと思います。また、「ふれあいプラザ」でイベントを開催する際に、公共交通で来場された方へ乗車賃が無料になる特典や支援をしてはどうでしょうか。また、「ふれあいプラザ」でイベントを行うことができることを知らない方も多いためと思われまますので、定期的なイベントの開催を企画していただき、このような使い道もありますよと発信してはどうでしょうか。最後に、「ふれあいプラザ」の利用の仕方、料金、問合せ先などわかりづらいです。市HPを検索すると掲載してありますが、どれだけの時間を使うとどれくらいの料金がかかるかわかりづらいという意見も聞いています。料金の例を出すなど、もう少しわかりやすくしていただくと利用者も増えるのではないのでしょうか。

【三日市・Nさん】

現在、私は後期高齢者といわれる年齢になり、障がいを持つ娘と二人暮らしをしています。そのような中で私が長期入院や認知症になるかもしれないと考えると不安があります。一つ目に、市の健康予防などの福祉政策について聞いてみたいと思っております。二つ目に、広

報くろべや福祉くろべ市議会だよりなどで福祉関係の記事を取り上げてもらいたいということ要望します。三つ目には、「道の駅」に温泉施設を整備してもらいたいと思っております。最後、黒部の魅力は黒部川をはじめとした山や川や海だと思ふ。もっとPRしてはどうか。

【生地・Kさん】

私は、黒部商工会議所青年部に所属しています。商工会議所青年部はいろいろな職種の人が集まっている団体です。商業や工業、観光業などたくさんの職種があるということも黒部市の魅力ではないかと考えています。市内の大企業、中小企業が10年後、20年後も発展していくためにも未来の働き手確保が必要不可欠化と考えます。それについて、市長のお考えを伺いたいと思います。また、10月に我々青年部と黒部青年会議所さんとが協力して「キッズ・ザ・お仕事チャレンジ」という子どもたちに職業体験をしてもらう事業を開催しました。子どもたちに働くことの大切さや楽しさをしてもらうために、2つの団体も力を合わせてやっていきたいと思っているので、市からも事業に対してご協力とご支援をいただきたいと思っています。

【市長】

ありがとうございます。まず、Sさん、いつも公共交通の利用促進にご協力をいただきありがとうございます。北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅の「ふれあいプラザ」の活用につきましては、大変重要なことだと考えております。賑わいの創出に向けてできるだけ支援をしていきたいと思っています。この「ふれあいプラザ」が天候や季節によって風が入り込み使いづらいといったご意見であります、パーテーションのようなもの(展示パネル)も準備してありますので、たくさん使っていただきたいなと思います。ただ、「ふれあいプラザ」は建物ではなく道路という位置づけでありますので、駐車場から駅までの通路に屋根をかけて整備したものでありますので、ご理解いただきたいと思ふ。パーテーション(展示パネル)の数や形、強度等については、ご相談いただければと思ふ。

次に、「ふれあいプラザ」に公共交通を利用して来られる方に「お試し乗車券」をお配りすることもできます。「お試し乗車券」は新幹線市街地線あるいは南北循環線のバスを1回目は無料、2回目は100円の運賃で乗車していただける券がありますので、ご相談いただければイベントとともに利用促進を図っていければと思ふています。

続いて、利用する際にわかりづらいという点について、市HPでご覧いただけるようになっていますが、HPを修正してまいりたいと思ふています。

また、活用について、今日はJA女性部の方々も来ていらっしゃいますが、5月～11月にかけて「くろべ農と食のまるかじり市」を開催していただいております、苦勞をおかけしておりますが、賑わいを創出していただいております、感謝申し上げます。

次にNさんからの「道の駅」の計画について、現在、温浴施設を整備できるか業者のヒアリングを行っている段階にあります。市の方では温泉脈調査を行っており、できれば天然温泉でやりたいなと思っておりますが、今の情報では少し天然温泉は厳しいかもしれません。もしそうでも、沸かし湯で温泉施設の整備を考えており、民間のノウハウを活か

して経営してもらうようヒアリング等を行っているところです。

次に福祉政策について、ご意見がありました。認知症の方が増えてきており、認知症外来を作らなければいけないかと思っています。まずは、認知症について理解してもらい、認知症にならないような予防教室を開催し、元気にお過ごしいただけるよう健康寿命を延ばす取り組みを積極的に実施してまいりたいと考えております。お困りのことや聞いておきたいことがあれば、市役所と宇奈月老人福祉センターの中に地域包括支援センターがございますので、相談していただければと考えております。高齢者の方のさまざまなニーズがございますが、地域が一体となって対策を取っていきたいと考えております。続いて、広報くろべでの福祉施策の紹介という点については、誌面に限りもございますが、充実したものになるよう協議してまいりたいと思います。

最後に、黒部の魅力という点でございますが、黒部川が作った扇状地やジオパークとして水の循環を考えれば黒部川は非常に重要でありますし、我々黒部に住む人間が黒部川とどう向き合っていくかという点については、防災や減災という観点も含めて非常に重要なテーマでありますので、しっかりと発信していきたいと考えております。

次に3人目のKさん、子供の頃からの職業感覚の醸成が大事だというご意見についてです。この点については、私も毎年、中学3年生の生徒とスクールミーティングという授業を行っております。目的として、中学3年生になって初めて自分の進路を考える時期を迎え、どこの高校に行こうかということではなくて、その前に自分が将来どんな職業に就いて、どんな生活をおくるかというイメージを、中学生に時代から持たせないといけず、それを実現するためにどのような方法を選ぶ、どの高校や大学、専門学校を選んで卒業し、自分の夢を実現できるよう教育をしていくべきだと考えております。この職業観を持たせるという点は非常に大事です。現在、4年制の大学卒の3年以内の離職率が約3割といわれています。高校卒も3年以内に半分が辞めて、転職します。学生はこれまで、行ける学校に向かって勉強してきたものだから、職業に関してあまり考えさせているところがあります。さらに、今ある職業で今後なくなっていく職業がたくさんあります。ネットで注文すれば商品が届く時代です。まちにあった職業がだんだんとなくなって、それで生活できる社会になっています。しかしながら、なくてはならない職業がたくさんあります。そんな職業にみんながバランスよく就いて社会を作っていくことが大事であり、子供の頃から職業感覚を持たせる教育は非常に大事だと考えております。特に、黒部市は9月末で有効求人倍率が2.34倍であり、東京並の値です。県内も約1.8倍と全国でも上位です。求職者は選べる立場にあり、中小企業で雇用を確保することが難しい状況であり、まずはいろいろな職業に就くという感覚を養うことも重要であると思っております。商工会議所青年部と青年会議所で「キッズ・ザ・お仕事チャレンジ」を市の公募提案型事業を活用されて実施されたとのこと。新規事業は補助の対象となりますが、今のところ継続事業は対象から外れてしまっていますが、素晴らしい事業でありますので、角度を変えて申請された場合採択されるかどうか検討させていただきたいと考えております。

【三日市・Iさん】

提案を3点ほどいたします。人口減少社会の中で、個人的には交流人口を拡大するよ

りも定住人口を拡大する施策の方が重要だと考えております。まず、コラーレのイベントについて、集客力のないイベントが多いように思います。集客力のあるイベントを開催し、新潟や長野、関東圏からも新幹線を使い、宇奈月温泉へ泊りがけできてもらい、新幹線の駅とコラーレをシャトルバスで結ぶような取り組みを毎年決まった月にやるといった企画をやってほしいです。

2点目は、黒部名水パークについて、非常に美味しいのですが、養豚場を集約化できないでしょうか。コラーレから旧8号線のあたりの臭いが気になります。交流人口の拡大しようという中で、いつまでも放置できないことだと思います。集約化をして観光農園のようなところまでレベルアップを図ってほしいです。

最後は、私の趣味も入ってきますが、釣りについて、宇奈月ダムにワカサギやヒラメ、キジハタを放流し、石田にある釣り桟橋に負けないくらいのを整備できないでしょうか。有料でもよいと思うし、そこに行けば釣れるということになれば県外からのお客さんも増えるのではないのでしょうか。

【内山・Tさん】

キャニオニングが現在、行われておりますが、近くに発電所ができると聞いており、水量が減ったり、そのあたりの影響はどうでしょうか。また、雨で地鉄の電車が止まっている、対策があれば聞きたい。

【生地・Mさん】

先日、富山県が日本で一番美肌であるといった報道がありました。美肌といわれると黒部であれば宇奈月温泉や生地のヒラメが肌に良いといわれているかと思えます。女性が美しいということは非常によいと思う、こういったことを何か活かしてPRできないでしょうか。特に生地の魚を前面に出して取り組んでいく、ヒラメのブランド化を進めてはどうでしょうか。

【市長】

Iさんのコラーレでもっと集客力のあるイベントをというご意見であります。コラーレの客席数が約880席であります。これが中々みそでありまして、満員になっても880席ありますので、チケット単価をかなり高くしないと採算が取れないというようなことがあって、この規模では難しい面もありますが、まだ工夫する余地があるかと考えており、私はコラーレの理事長という立場でもありますので、検討してまいりたいと思います。また、交流人口よりも定住人口対策といったご意見について、黒部市の人口の現状についてご説明します。いわゆる自然増減、生まれる人数と亡くなる人数の比較ですと、赤ちゃんが300人生まれて、亡くなった方が500人ということで、200人の人口減であります。社会増減、転入と転出の比較ですと、50人ほど転入者が多くなります。自然増減でマイナス200人、社会増減でプラス50人ありますので、差引しますとマイナス150～160人、5年間で800人余りが減少していきます。他の都市をみますと、自然増減はもちろん、社会増減も減少しているので急激に人口が減少しています。

名水パークにつきましても、臭い対策をしっかりとすることはそのとおりでありま

す。黒部市内の養豚農家が生産している豚が全て名水ポークかというところではありません。条件がちゃんと決まっており、それを名水ポークと呼んでいるのですが、実は減少傾向にあります。現在、村椿と荻生で生産しておられる養豚場は3か所ありますが、維持・拡大は大変厳しく、今後、養豚場の対策をしっかりと考えていかなければならないところがあり、臭い対策など研究をさせていただいているところです。

次に、宇奈月ダムでのワカサギ釣りをできないかという点についてですが、宇奈月ダムでは現実的に無理です。宇奈月ダムでは溜まった土砂を流す連携排砂を実施しており、黒部川の機能を維持するためにも重要な事業であるためご理解いただきたいと思います。ただ、ワカサギを他の所でとなればどこかでできそうな気もするので、研究させていただきたいです。

次にTさんの、キャニオニングについて、弥太蔵谷で実施しており、年間3,000人以上が体験されており、特に外国人や若者に高い人気があります。黒部川でのキャニオニングは全国でも1番スリルのあるコースだといわれています。発電所の建設に係り、キャニオニングを楽しめる水量の確保など関係機関と協議を進めています。また、安全対策についてもインストラクターがついて川での流れ方や滝への飛び込み方をしっかりと指導を実施しており、事故等が起きないように今後も気を付けてまいります。次に、富山地方鉄道の土砂災害対策であります。災害が起きている箇所については、砂防対策をしていますが大きな事故が起きないように災害対策をしっかりと進めていかなければいけないと思いますので、富山地方鉄道とも協議してまいります。

生地のMさんの美肌のPRということではありますが、なぜ富山県が美肌日本一かといいますと雨が降って湿度が高い、その結果美肌になるというコラムを読みましたが、あまり湿度が高いと髪の毛はぼさぼさになったりということがありましたが、肌にはいいということが確認されました。美肌ということもこれから黒部の売りにしていくテーマとして考えていきたいと思います。また、宇奈月温泉も美肌の湯ということで発信しておりますし、ゲンゲも非常に美味しく、それらとの連携も考えていきたいと思います。

【内山・Tさん】

内山地区の土砂災害は十二貫野用水を暗渠化したことで、山からの水を飲みこめなくなっていることがあるかと思うので、抜本的な対策をお願いしたい。

【市長】

十二貫野用水の暗渠化も必要な整備でありましたし、また、暗渠化することで逆に土砂災害が起きやすくなったという点もあるかと思いますが、今後は土砂災害対策の方を重視してまいりたいと思います。

【下立・Tさん】

私は高岡市から黒部市にお嫁に来て、現在、観光業に携わっており、宇奈月はとてもいいとこだと感じています。黒部市を全国や世界にどのようにPRしているか伺いたいです。

【宇奈月温泉・Wさん】

今日のテーマにもあった通り、交流人口の拡大は必要だと感じます。ただ、こういった取り組みは市単独ではなく、新川広域圏、富山県といったレベルでの連携が必要ではないでしょうか。こういった連携の取り組み事例があればお伺いします。次に、宇奈月温泉の弱点として駐車場が非常に少なく、多くの観光客が訪れると渋滞が起きてしまいます。そこで、宇奈月温泉へのアクセスルートを増やすことは可能か、また、そのような検討をされているか伺います。最後に、サルやイノシシなど鳥獣被害があります。観光客に被害を及ぼしたということは聞いていませんが、外国人観光客も増えていく中でイメージダウンにもつながりかねません。この対策等を考えておられれば教えていただきたいです。

【市長】

まず、Tさんの黒部や新川の魅力の発信という点についてですが、この地域の最大の魅力はこの大自然であります。どうして現在の形になっているか、今何が起きているのかということが、立山黒部ジオパーク映画「剣の山」をご覧くださいとわかります。3,000級の山が毎年1cmずつ隆起し、大量の雨が山を削り、黒部峡谷のような深い谷をつくっている、そして降り注いだ雨が大地に浸透し、伏流水となって海岸部や富山湾から湧き出ること、富山湾でしか取れない白エビやホタルイカがあります。これらのことを地元の人が理解し、自慢をすることで県内外へ発信してもらうことが重要かと思えます。

次に、Wさんの交流人口の拡大にあたり、広域での連携は必要であり、そのための取り組みの一つとして、立山黒部ジオパークがあります。立山黒部ジオパークは富山市から東の県東部の9自治体が一緒になって申請し、日本ジオパークの認定を受けました。それぞれの特徴として、ジオサイトやジオポイントを地元として、理解し、磨き上げ、発信していくことが広域観光につながると思えます。北陸新幹線の開業を契機に県東部がまとまって、自分たちの魅力を再発見し、磨き上げ、発信していけないかということで立山黒部ジオパークを一つの切り口にしています。

宇奈月温泉の駐車場対策であります。中々難しい問題であります。つい先日も、駐車場の空き待つ車の列ができていました。宇奈月温泉に大型の駐車場を設けることは難しいですが、対策は必要であり、今後地元の皆さま方と協議しながら検討してまいります。最後に、サルやイノシシについてであります。宇奈月温泉街でもサルが多くなっており、朝方、セレネの横の宇奈月神社の前にはたくさんのサルがおります。車ならいいですが、歩いていると少し怖い感じもします。対策となると保護と駆除のバランスもあり、今後どのようにしていけばいいか課題であります。また、イノシシも駆除しておりますが、駆除したものをどうするのかという課題もあります。現在、黒部市と魚津市では「ジビエ」として、駆除したものを販売できないか具体的な検討をしております。施設ができて「ジビエ」の販路をつくるのが難しいです。日本では野生の肉を食べる文化、習慣がヨーロッパに比べて少なく、施設ができた際は皆さまにも食べてもらいたいです。

【事務局】

これまで、いろいろなご意見をいただきましたが、予定の時間も過ぎております。これ

をもちまして、意見交換を終了とさせていただきます。

それでは、本日のタウンミーティングの閉会にあたり、本日お集まりいただきました皆様へのお礼も含めまして、堀内市長からご挨拶申し上げます。

【市長】

今日のご多用の中、またお疲れの中、お集まりいただきありがとうございました。旧黒部市と旧宇奈月町が合併してまもなく12年経過しようとしています。皆様のご協力で一体感の醸成をすることができたと感じております。また、その間北陸新幹線の開業など大変大きな出来事もございました。今後、第2ステージとして私たちの地域が継続的に発展していくためにはどうしたらいいのかということについて、これから皆さんと一緒に考えてまいりたいと思います。何よりも皆でこの地域をよくしようという思いがどれだけあるかにかかっているのではないかと思います。行政だけでは何事もできません、市民や企業の皆さんと一体となって協働のまちづくりをこれからも進めてまいりたいと思います。引き続きのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。閉会のご挨拶にかえさせていただきます。本日は大変ありがとうございました。

【事務局】

それでは以上で、タウンミーティングを終了いたします。お忘れ物のないよう、また、お気をつけてお帰りいただきたいと存じます。

なお、受付時にお配りいたしましたアンケートを会場出口で回収しております。皆さまのご協力をよろしく願いいたします。本日はどうもありがとうございました。